

支援学校高等部 工業（機械）

解答についての注意点

- 1 問題は、教科等に関する大問 **1**～大問 **4**、特別支援教育に関する大問 **5** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1** については、記述式解答用紙に、大問 **2**～大問 **5** については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **2**～大問 **5** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「3」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

- 1 図1に示す物体の等角図（立体図）について、定規を用いて第三角法によって正投影図（三面図）で描け。ただし、矢印の向きに見た図を正面図とし、図中に示す立方体の一辺を正投影図（三面図）の1目盛りとする。また、隠れた部分は破線で描け。

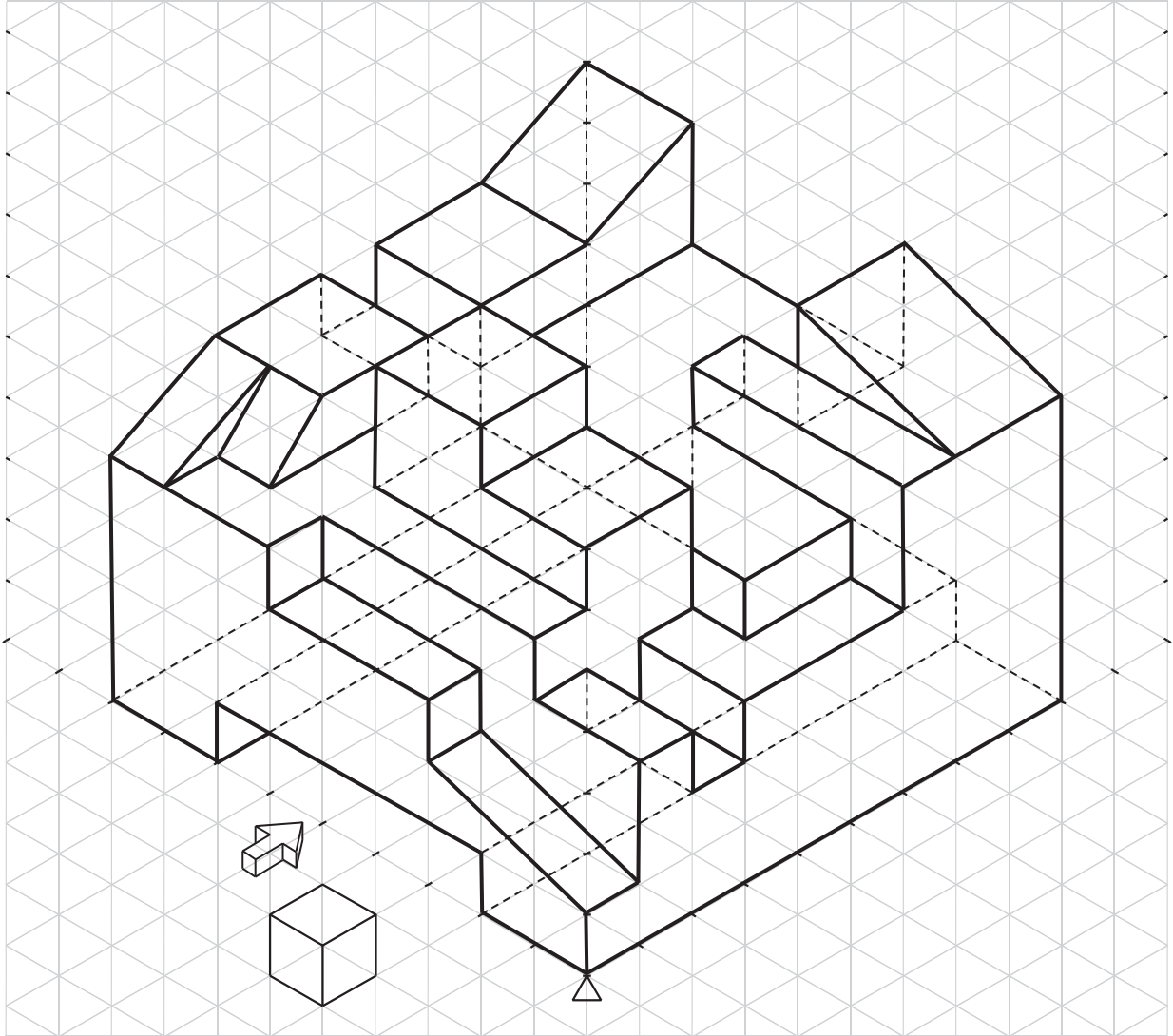


図1 等角図（立体図）

2 工業技術基礎及び工業数理基礎に関する次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 次のSI単位に乘ぜられる倍数とSI接頭語の記号と名称の組合せとして、最も適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

	単位に乘ぜられる倍数	接頭語の記号	接頭語の名称
1	10^{12}	P	ペタ
2	10^9	M	メガ
3	10^2	d a	デカ
4	10^{-9}	n	ナノ
5	10^{-12}	f	フェムト

(2) 実習作業に関する説明として、誤っているものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 電気実習において、アナログ式回路計を使用する前に指針の位置を確認したところ、0を示していなかったので、0位調整ネジを回して調整した。
- 2 電気実習において、直流回路の電圧・電流を測定するにあたり、直流電圧計は回路に直列に、直流電流計は回路に並列に接続して測定した。
- 3 機械実習において、弓のこを使用して金属棒を切断するにあたり、のこ刃の全長を使用するようにストロークを長くし、からだ全体で押して切るようにして切断した。
- 4 化学実習において、使用した溶剤を、指定された回収容器に戻した。
- 5 機械実習において、旋盤作業を行っていたところ、機械の運転音の変調に気付いたので、ただちに機械を停止した。

(3) 手仕上げで使用する作業工具の説明として、誤っているものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ハンマは、打撃を与える作業に用いる工具である。
- 2 万力（バイス）は、加工する工作物を固定する作業に用いる工具である。
- 3 金切りばさみは、金属の薄板を切断する作業に用いる工具である。
- 4 けがき針は、工作物を切断する部分に線などで印をつける作業に用いる工具である。
- 5 ダイスは、めねじを切る作業に用いる工具である。

(4) 図1に示す、手仕上げで使用する鉄工やすり（平形）のA～Dの名称として、最も適切な組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：工業技術基礎

山下 省蔵ほか25名著 実教出版株式会社
75ページ 図11 鉄工やすりの各部名称

図1

	A	B	C	D
1	こば	面	こみ	穂先
2	こみ	面	こば	柄
3	こば	面	こみ	柄
4	こみ	幅	こば	穂先
5	こば	幅	こみ	柄

(5) 図2に示すスパナを使用し、点Aで50[N]の力を加えてナットを締め付けたときに生じるトルク T_A [N・m]の値として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：工業数理基礎

山下 省蔵ほか8名著 実教出版株式会社

91ページ 図3-32 締め付け力

図2

- 1 0.4
- 2 2.5
- 3 10
- 4 250
- 5 1000

(6) 図3に示す回路において、電圧 V [V]の値として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

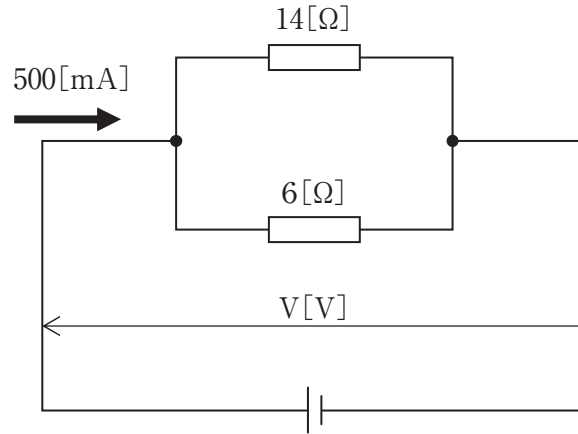


図3

- 1 2.1 2 8.4 3 10 4 2100 5 10000

(7) 図4に示すJIS C0617-2に規定されている電気用図記号の名称として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

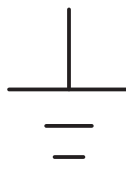


図4

- 1 抵抗器
- 2 接地
- 3 交流電源
- 4 電池
- 5 ランプ

(8) 220 [g] の水が入ったビーカーに、質量 x [g] の塩化ナトリウムを溶かし、質量パーセント濃度が 12 [%] の塩化ナトリウム水溶液をつくった。この水溶液中の塩化ナトリウムの質量 x [g] の値として、最も適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 10 2 20 3 30 4 40 5 50

(9) エタノールの沸点は、78.32 [°C] である。この沸点を絶対温度 (熱力学温度) [K] で表した時の値として、最も適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 351.47 2 178.32 3 100.00 4 -195.10 5 -273.15

(10) 図 5 は測点 A から建物までの距離の測量結果を示す。この建物の高さ H [m] の値として、最も適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

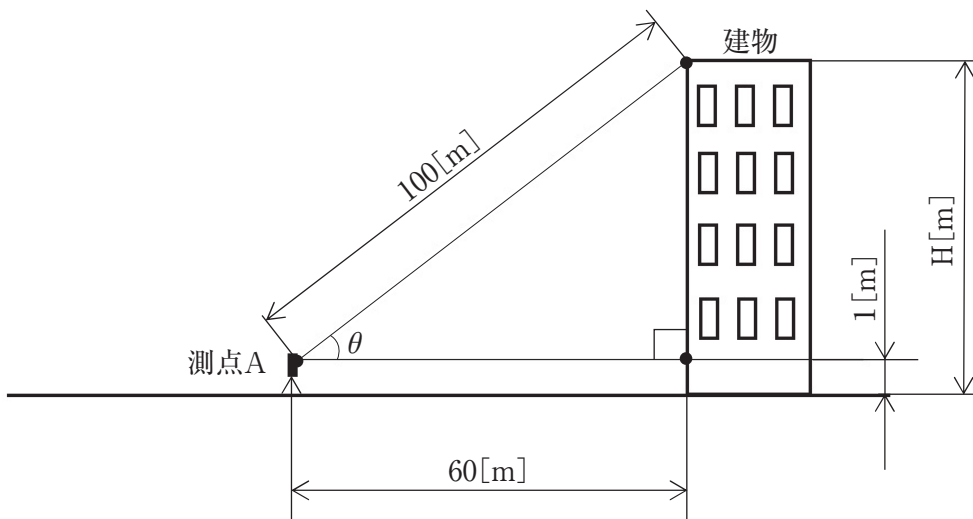


図 5

- 1 41 2 70 3 71 4 80 5 81

3 機械工作に関する次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 炭素鋼について次のア、イの各問いに答えよ。

ア 次の文章の 、 に当てはまる語句として、最も適切な組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は

S35Cは、 という鋼種で、歯車や軸などの機械や装置の構造用に使われている。
SとCの間の数値は の代表値の100倍の数値を表している。

	A	B
1	機械構造用炭素鋼鋼材	引張強さ [N/mm ²]
2	一般構造用圧延鋼材	炭素量 [%]
3	ステンレス鋼材	引張強さ [N/mm ²]
4	機械構造用炭素鋼鋼材	炭素量 [%]
5	一般構造用圧延鋼材	引張強さ [N/mm ²]

イ 次の文章の 、 に当てはまる語句として、最も適切な組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は

SS400は、 という鋼種で、橋・船舶・車両などの構造用に使われている。
SSに続く数値は、保証している の最低値を表している。

	C	D
1	機械構造用炭素鋼鋼材	引張強さ [N/mm ²]
2	一般構造用圧延鋼材	炭素量 [%]
3	ステンレス鋼材	引張強さ [N/mm ²]
4	機械構造用炭素鋼鋼材	炭素量 [%]
5	一般構造用圧延鋼材	引張強さ [N/mm ²]

(2) 図1に示す、機械材料の機械的性質を調べる試験として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：機械工作1

嵯峨 常生ほか6名著 実教出版株式会社

33ページ 表1 硬さ試験の原理および特徴

図1

- 1 シャルピー衝撃試験
- 2 ロックウェル硬さ試験
- 3 ビッカース硬さ試験
- 4 ブリネル硬さ試験
- 5 ショア硬さ試験

(3) 図2に示す炭素鋼（軟鋼）の応力—ひずみ線図について、ア、イの各問いに答えよ。

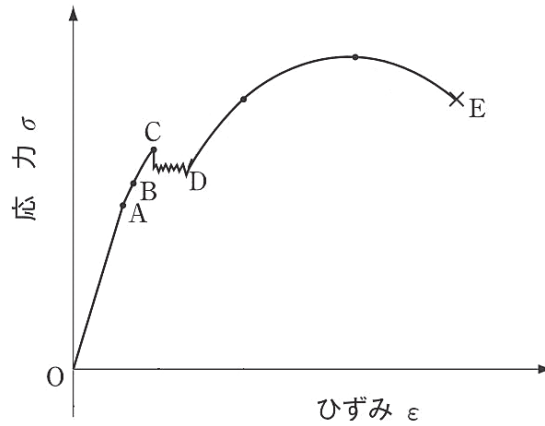


図2

ア 図2のA点～E点の応力の状態に当てはまる語句として、最も適切な組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は

	A	B	C	D	E
1	弾性限度	比例限度	上降伏点	下降伏点	破断点
2	比例限度	弾性限度	下降伏点	上降伏点	破断点
3	弾性限度	比例限度	上降伏点	破断点	引張強さ
4	比例限度	上降伏点	下降伏点	破断点	引張強さ
5	比例限度	弾性限度	上降伏点	下降伏点	破断点

イ 次の文章の 、 に当てはまる語句として、最も適切な組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は

図2のA点までは、応力はひずみに比例して増加する。また荷重を取り除くと試験片は最初の長さに戻る。材料が持つこの性質を という。

試験片に荷重をかけ続け、B点を超えてさらに応力が増加すると、荷重を取り除いても試験片は最初の長さに戻らなくなる。この性質を という。

	F	G
1	弾性	塑性
2	塑性	脆性
3	摩耗	疲労
4	塑性	弾性
5	弾性	脆性

(4) 塑性加工の加工法とその特徴について、誤っているものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 鍛造とは、高温状態の金属をたたいたり、圧縮したりして成形する加工法である。
- 2 転造とは、回転する二つのロールの間に金属を挿入して、板材や棒材を加工する加工法である。
- 3 押出加工とは、型や穴のすきまから金属を押し出して、棒材や管を成形する加工法である。
- 4 引抜加工とは、型や穴のすきまから金属を引き抜いて、材料の径を小さくする加工法である。
- 5 プレス加工とは、型を用いて、金属を切断したり曲げたりして成形する加工法である。

(5) 溶接に関する文章について、～に入る語句として、最も適切な組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は

溶接とは、主に金属材料の一部を加熱したり、加圧したりして、互いを一体化して硬く結びつける工作法である。

溶接の種類は、材料どうしを溶かして結合する 、加熱しながら加圧する 、材料の継目に溶けやすい金属を流し込んで接合する などに分類される。

ガス溶接は、溶接の種類のうち にあたる。

	A	B	C	D
1	融接	圧接	ろう接	融接
2	圧接	ろう接	融接	ろう接
3	ろう接	融接	圧接	圧接
4	融接	圧接	接着	融接
5	圧接	ろう接	融接	圧接

(6) 非鉄金属とその特性についての説明として、誤っているものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 銅 (C u) は、強さや硬さなどの機械的性質が鉄鋼材料に劣り、構造材には適さない。しかし電気や熱の良導体であり、耐食性・加工性に優れている。
- 2 黄銅 (C u - S n 系合金) は、鑄造性・被削性・耐食性がよく、機械的性質に優れている。
- 3 チタン (T i) は、比重が4.51と鉄よりも小さく、比強度 (引張強度/比重) が大きいので、軽くて強いという特徴を持っている。また耐食性に優れている。
- 4 アルミニウム (A l) は、ボーキサイトからアルミナを製造しこれを熔融塩電解して製造する。A l は軽く、電気や熱の良導体であり、加工しやすい特徴がある。
- 5 マグネシウム (M g) は、実用されている金属材料としては最も軽く、加工性もよく、振動吸収性に優れている。自動車用部品や光学機器などに用いられている。

(7) 次のA～Cに示すプラスチック材料のうち、熱硬化性樹脂をすべて選んでいるものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- A フェノール樹脂
- B 塩化ビニル樹脂
- C エポキシ樹脂

1 A 2 AとB 3 AとC 4 B 5 BとC

(8) 汎用旋盤を用いて、直径100 [m m] の工作物の外周を切削加工する。主軸の回転速度を200 [m i n⁻¹] とした際の切削速度V [m / m i n] の値として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。ただし、円周率は3.14とする。解答番号は

1 0.0005 2 0.5 3 31.4 4 39.25 5 62.8

4 機械設計に関する次の(1)～(6)の問いに答えよ。

(1) 次のア～ウの運動の法則に関する文章において、～に当てはまる語句として、最も適切な組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「物体に外から力が働かないかぎり、そのの状態はかわらない。」この法則を運動の第一法則という。

イ 「物体に力が作用したとき、生じるの向きは、力の向きと一致し、その大きさは力の大きさにする。」この法則を運動の第二法則という。

ウ 「物体Aが物体Bに力を働かせたときは、同時に物体Bも物体Aに力を働かせたことになる。その力はが等しく、向きが逆である。」この法則を運動の第三法則という。

	A	B	C	D
1	運動	加速度	反比例	大きさ
2	力	運動	比例	大きさ
3	力	運動	反比例	速度
4	力	加速度	比例	速度
5	運動	加速度	比例	大きさ

(2) 等加速度運動をしている自動車が80[m]進む間に、速度が10[m/s]から18[m/s]になった。このときの加速度[m/s²]の値として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。ただし、走行抵抗の損失は考えないものとする。解答番号は

- 1 0.05
- 2 0.7
- 3 1.4
- 4 2.1
- 5 2.8

- (3) 図2に示す両頭グラインダのといし車の外径が150[mm]である。といし車の回転速度が3600[min^{-1}]で回っている時の角速度[rad/s]と周速度[m/s]の値の組合せとして、最も適切なものを1～5から一つ選べ。ただし円周率を3.14とする。解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：淀川電機製作所HP

製品案内(グラインダー) 両頭グラインダー

http://www.yodogawadenki.gr.jp/_src/sc4026/icon_sy.png

図2

	角速度	周速度
1	188.4	14.13
2	188.4	28.26
3	188.4	56.52
4	376.8	28.26
5	376.8	56.52

- (4) 直径40[mm]の丸棒に50[kN]の引張荷重を加えた時にかかる垂直応力[MPa]の値として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。ただし円周率を3.14とする。

解答番号は

1	25.12
2	39.81
3	99.52
4	159.23
5	398.09

(5) 直径 10 [mm]、長さ 1.5 [m] の鋼線に 3 [kN] の引張荷重を加えたときの伸び [mm] の値として、最も適切なものを 1～5 から一つ選べ。ただし、縦弾性係数 (ヤング率) $E = 192$ [GPa]、円周率を 3.14 とする。解答番号は

- 1 0.087
- 2 0.154
- 3 0.299
- 4 0.586
- 5 1.194

(6) はりに関する次のア～ウの各問いに答えよ。

ア 図 3 に示す単純支持ばりの反力 R_A [N]、反力 R_B [N] の組合せとして、最も適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

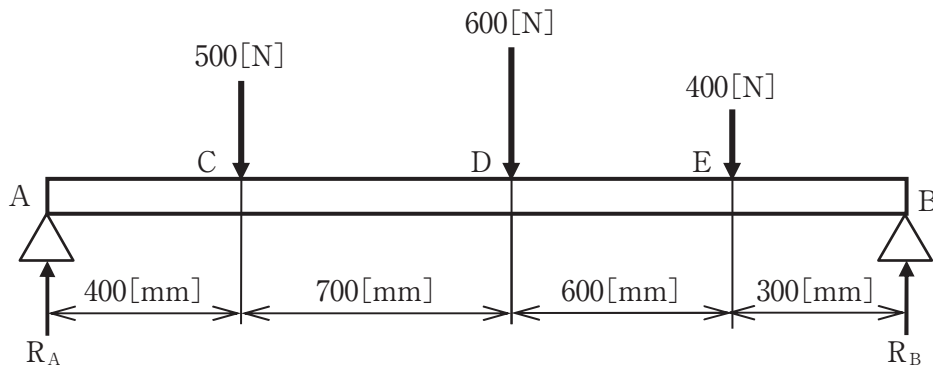


図 3

	R_A	R_B
1	500	1000
2	700	800
3	730	770
4	750	750
5	770	730

イ 図4に示す単純支持ばりのA点に反力 $R_A = 575$ [N]、B点に反力 $R_B = 525$ [N]のとき、次の①、②の各問いに答えよ。ただし、せん断力の符号は図5、曲げモーメントの符号は図6のとおりとする。

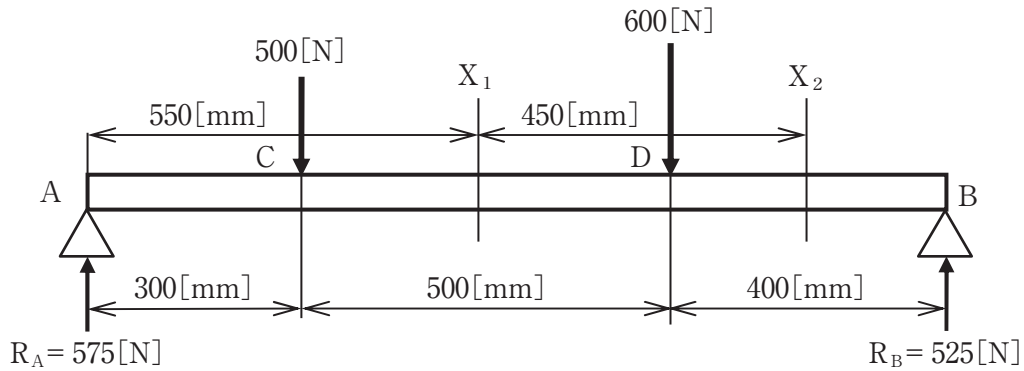


図4

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典：機械設計1
林 洋次ほか12名著 実教出版株式会社
111ページ 図32 せん断力の符号

図5

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典：機械設計1
林 洋次ほか12名著 実教出版株式会社
113ページ 図35 曲げモーメント符号

図6

① 断面 X_1 と断面 X_2 におけるせん断力 F_1 [N]と F_2 [N]の組合せとして、最も適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

	F_1	F_2
1	75	-525
2	75	-75
3	75	525
4	275	-225
5	575	-525

② 断面 X_1 の曲げモーメント M_1 [N・mm]の値として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

1	95625
2	158125
3	191250
4	253750
5	316250

ウ 図7に示す等分布荷重を受ける単純支持ばりの等分布荷重 $w = 0.5 \text{ [N/mm]}$ が A - B 間の距離 800 [mm] の全長にわたって加わっているとき、次の①、②の各問いに答えよ。ただし、曲げモーメントの符号は図8のとおりとする。

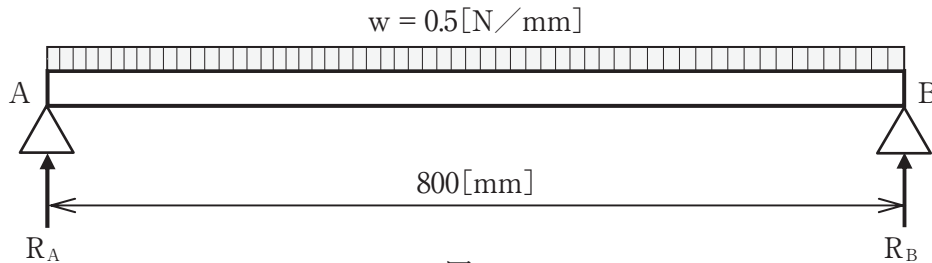


図7

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。
出典：機械設計1
林 洋次ほか12名著 実教出版株式会社
113ページ 図35 曲げモーメント符号

図8

① 反力 $R_A \text{ [N]}$ の値として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 100
- 2 150
- 3 180
- 4 200
- 5 400

② 最大曲げモーメント $M_{\max} \text{ [N} \cdot \text{mm]}$ の値として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 400
- 2 2000
- 3 8000
- 4 20000
- 5 40000

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

5 特別支援教育に関する法令や近年の動向について、次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月施行)第一条である。空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、 (昭和四十五年法律第八十四号)の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながらする社会の実現に資することを目的とする。

	ア	イ	ウ	エ
1	発達障害者支援法	社会生活	独立行政法人	共生
2	障害者基本法	平等権	行政機関	支援
3	発達障害者支援法	基本的人権	地方公共団体	共生
4	障害者基本法	平等権	地方公共団体	支援
5	障害者基本法	基本的人権	行政機関	共生

(2) 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに特別支援学校幼稚部教育要領の全部を改正する告示及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の全部を改正する告示の公示について(通知)」(平成29年4月 文部科学省)の(5)小学部・中学部における主な改善事項④「一人一人に応じた指導の充実」では、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮し、育成を目指す資質・能力を育むため、障がいの特性等に応じた指導上の配慮を充実させることを示した。次に示す指導上の配慮は、特に、どの障がい種別にあたるか。正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

障がいの特性等に応じた指導上の配慮	障がい種別
間接体験、疑似体験等を取り入れた指導方法の工夫	<input type="text" value="ア"/>
体験的な活動を通じた的確な言語概念等の形成	<input type="text" value="イ"/>
音声、文字、手話、指文字等を活用した意思の相互伝達の充実	<input type="text" value="ウ"/>
空間や時間の概念形成の充実	<input type="text" value="エ"/>

	ア	イ	ウ	エ
1	聴覚障害	視覚障害	病弱	肢体不自由
2	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
3	病弱	肢体不自由	聴覚障害	視覚障害
4	病弱	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由
5	視覚障害	聴覚障害	病弱	肢体不自由

(3) 次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」(平成29年4月告示)の記述である。
次の①、②の問いに答えよ。

① 「第7章 自立活動」について、正しく述べられているものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「目標」は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことである。

イ 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。

ウ 自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

エ 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

オ 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な集団活動が行われるようにする必要があること。

- 1 アーウ
- 2 イーエ
- 3 アーウーオ
- 4 イーウーエ
- 5 アーイーウ

② 次の各文は、自立活動の「内容」の記述の一部である。記述中の空欄ア～オに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 健康の保持

2 心理的な安定

3

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。

4

- (1) 保有する感覚の活用に関する事。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。
- (3) 感覚の補助及び の活用に関する事。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。

5

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。
- (4) 身体の移動能力に関する事。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
- (2) 言語の と表出に関する事。
- (3) 言語の形成と活用に関する事。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	人間関係の形成	環境の把握	保有感覚	身体の動き	理解
2	個人と他者	環境の把握	保有感覚	安全な生活	理解
3	人間関係の形成	体験学習	保有感覚	安全な生活	受容
4	人間関係の形成	環境の把握	代行手段	身体の動き	受容
5	個人と他者	体験学習	代行手段	身体の動き	理解

(4) 次の各文は、「学校教育法」(平成30年6月一部改正)の「第八章 特別支援教育」の条文である。
正しいもののみをすべてあげているのはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

イ 特別支援学校には、小学部及び中学部を置かなければならない。ただし、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。

ウ 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、都道府県教育委員会が定める。

エ 特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる。

オ 都道府県は、その区域内にある学齢児童及び学齢生徒のうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者で、その障害が第七十五条の政令で定める程度のものを就学させるに必要な特別支援学校を設置しなければならない。

- 1 アーイーエ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーエーオ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(5) 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年6月一部改正) 第八条の一部である。文中の空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

国及び地方公共団体は、発達障害児（十八歳以上の発達障害者であって高等学校、及び特別支援学校並びに専修学校の高等課程に在学する者を含む。以下この項において同じ。）が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、可能な限り発達障害児が発達障害児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行うこと、の作成（教育に関する業務を行う関係機関と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体との連携の下に行う個別の長期的な支援に関する計画の作成をいう。）及びの作成の推進、の防止等のための対策の推進その他の支援体制の整備を行うことその他必要な措置を講じるものとする。

	ア	イ	ウ	エ
1	大学	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	差別
2	中等教育学校	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	いじめ
3	中等教育学校	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	差別
4	大学	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	いじめ

(6) 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 「2 学習評価の主な改善点について」、空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における各教科・科目の評価について、学習状況を に捉える観点別学習状況の評価と、これらを に捉える評定の両方について、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に した評価として実施することを明確にしたこと。

	ア	イ	ウ	エ
1	個別的	作業的	生徒の実態	準拠
2	職業的	客観的	家庭の状況	配慮
3	個別的	総括的	家庭の状況	準拠
4	分析的	客観的	キャリア教育	配慮
5	分析的	総括的	生徒の実態	準拠

② 「3 指導要録の主な改善点について」、空欄ア～ウに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校（知的障害）各教科については、特別支援学校の新学習指導要領において、小・中・高等学校等との を重視する観点から小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す の三つの柱で目標及び内容が整理されたことを踏まえ、その学習評価においても観点別学習状況を踏まえて を行うこととしたこと。

	ア	イ	ウ
1	生きる力	資質・能力	自由記述
2	学びの連続性	資質・能力	文章記述
3	横断的学習	資質・能力	文章記述
4	学びの連続性	改善・克服	特技の記述
5	生きる力	改善・克服	自由記述

(7) 次の各文は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(平成27年12月中央教育審議会答申)のこれからの時代の教員に求められる資質能力について述べたものである。正しい記述のみをすべてあげた組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。

イ 子供たち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、これからの時代に生きる子供たちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要である。

ウ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。

エ 学校安全への対応、幼小接続をはじめとした学校間連携等への対応が必要である。

オ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成が必要である。

- 1 アーイーウ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーウーエ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(8) 「大阪の支援教育」(令和元年度版 大阪府教育庁)において、述べられている大阪府の支援教育の現状のうち、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 大阪府では、すべての幼児児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本として幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校などで、一人ひとりのニーズに応じた教育を行っている。
- 2 平成30年度の大阪府における小・中・義務教育学校への支援学級設置校率は、他府県と比較して高い。
- 3 支援学校(小・中学部)に在籍する児童生徒は、支援学級に在籍する児童生徒より多い。
- 4 学齢期の子どもが減少しているが、支援学校・支援学級に在籍する児童生徒は増加している。
- 5 障がいの重度・重複化など、障がいのある子どもの教育を取り巻く状況の変化に伴い、幼児児童生徒や保護者の意識やニーズが多様化している。

